

大口町 新川流域 都市浸水想定区域図

1. 説明文

- (1) この図は、一時的に大量の降雨が生じた場合、この降雨が下水道・河川等に排水できないことによって発生が予想される浸水（「都市浸水」といいます。）について、その区域と、想定される水深などを示したものです。
(特定都市河川浸水被害対策法第32条第2項に基づいて、大口町長及び愛知県知事が指定するものです。)
- (2) この都市浸水想定区域図は、平成18年3月時点の新川を始めとする流域内河川の河道整備状況や大口町の区域内地域の下水道管渠、雨水ポンプ施設等の整備状況などを勘案して、大口町の区域内において都市浸水の発生を防ぐべき目標となる降雨である1時間あたり52mm（概ね5年に1回程度）の降雨が降ったことにより、都市浸水が発生した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施に当たっては、想定した降雨を超える降雨が降った場合や、新川を始めとする流域内河川が破堤または溢水した場合の都市洪水等は考慮していませんので、この都市浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

- (1) 作成主体 大口町長、愛知県知事
- (2) 指定年月日 平成20年6月30日
- (3) 指定の根拠法令 特定都市河川浸水被害対策法（平成15年法律第77号）第32条第2項
- (4) 指定の前提となる計画降雨 大口町の区域に1時間あたり52mmの降雨

